

財務報告書2010

平成 21 事業年度

平成21年4月1日～平成22年3月31日



北海道公立大学法人札幌医科大学

目次

1. 財務概要	…P1
2. 平成21事業年度財務諸表の要約	…P3
3. 過去3年間の推移	…P9
4. 財務指標(年度間比較)	…P18
5. 資料編	
(1)貸借対照表	…P21
(2)損益計算書	…P24
(3)本学の収入構造について	…P28

○財務概要

資産・負債・純資産の状況

「貸借対照表」は平成21年度末における財政状態を表したものです。
 資産は前年度比38億円増加して491億円、負債が34億円増の124億円、純資産については4億円増加して367億円となっています。

貸借対照表 【平成22年3月31日】

(単位:億円)

	20年度	21年度	増減
資産の部	453	491	38
【固定資産】	394	418	24
土地	115	115	0
建物等	234	234	0
① 備品	35	59	24
図書	8	8	0
その他固定資産	2	2	0
【流動資産】	59	73	14
② 現金・預金	14	23	9
有価証券	1	1	0
③ その他流動資産	44	49	5
資産合計	453	491	38

	20年度	21年度	増減
負債の部	90	124	34
資産見返負債	30	30	0
④ 借入金	9	12	3
⑤ 未払金	36	43	7
寄附金債務	5	5	0
⑥ その他負債	10	34	24
純資産の部	363	367	4
資本金	346	346	0
資本剰余金	▲4	▲3	1
⑦ 利益剰余金	21	24	3
負債・純資産合計	453	491	38

注)各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

主な増減内容は次のとおりです。

資産の部

①備品:59億円(24億円増加)

・備品59億円は、備品の取得価格99億円から減価償却費累計額40億円を控除した額です。

・平成21年度は特定化学物質対策改修工事や細胞調製施設工事等に伴い工具器具備品で38億円増となった一方、減価償却費累計額が14億円増となっています。

②現金・預金:23億円(9億円増加)

・現金・預金は23億円で、昨年度より9億円の増となっています。

③その他流動資産:49億円(5億円増加)

・その他の流動資産として、未収学生納付金、未収附属病院収入、有価証券、医薬品及び診療材料、未収財源措置予定額などで49億円となっています。

・平成21年度は未収附属病院収入で1億円の増や未収財源措置予定額が5億円の増となっています。

負債の部

④借入金:12億円(3億円増加)

・長期借入金は、3億円の増の12億円となっています。

⑤未払金:47億円(7億円増加)

・未払金約47億円の内訳は、職員退職金未払金9億円とリース債務のうち1年以内支払分6億円及び4月以降支払う経費となっています。

⑥その他負債:34億円(24億円増加)

・平成21年度は医療情報システム等に係るリース債務19億円などによりその他債務34億円となっています。

純資産の部

⑦利益剰余金:24億円(3億円増加)

・目的積立金15億円と積立金6億円、平成21年度当期未処分利益3億円の24億円となっています。

費用・収益の状況

「損益計算書」は平成21事業年度の運営状況(経営成績)を表したものです。
 経常費用は前年度比12億円増加して289億円、経常収益は8億円増加の292億円です。この差額に臨時損益を加えた当期総利益は前年度比4億円減少し、3億円となっています。

損益計算書【平成21年4月1日～平成22年3月31日】

(単位:億円)

	20年度	21年度	増減
① 教育・研究等経費	19	20	1
② 診療経費	103	112	9
受託研究・事業費	4	5	1
③ 人件費	144	146	2
一般管理費	7	6	▲1
財務費用			0
雑損			0
経常費用	277	289	12
臨時損失			
当期総利益	7	3	▲4
計	284	292	8

	20年度	21年度	増減
運営費交付金収益	70	69	▲1
④ 附属病院収益	184	190	6
学生納付金収益	9	9	0
⑤ 外部資金収益	4	5	1
⑥ 雑益	5	7	2
その他収益	12	12	0
経常収益	284	292	8
臨時利益			
計	284	292	8

注)各金額は単位未満四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

主な増減内容は次のとおりです。

経常費用

①教育・研究等経費:20億円(1億円増加)
 ・文部科学省からの補助金獲得による研究経費の増

②診療経費:112億円(9億円増加)
 ・患者数の増に伴う医薬材料費等の増

③人件費:146億円(2億円増加)
 ・外部資金の獲得による非常勤職員等の増加
 ・退職手当の増

経常収益

④附属病院収益:190億円(6億円増加)
 ・患者数の増に伴う診療収入の増

⑤外部資金収益:5億円(1億円増加)
 ・受託研究費の獲得に伴う受託研究等収益の増

⑥雑益:7億円(2億円増加)
 ・文部科学省からの補助金の獲得による補助金等収益の増加

○平成21年事業年度財務諸表の要約

貸借対照表～法人の財政状態を明らかにするもの

注)各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位:百万円)

資産の部		
I	固定資産	41,777
1	有形固定資産	41,698
	土地	11,544
	建物	22,633
	構築物	800
	工具器具備品	5,878
	図書	812
	その他	31
2	無形固定資産	62
	ソフトウェア	20
	その他	42
3	投資その他の資産	16
	投資有価証券	0
	その他	16
II	流動資産	7,334
	現金及び預金	2,329
	未収学生納付金収入	4
	未収附属病院収入	3,549
	有価証券	110
	医薬品及び診療材料	331
	たな卸資産	7
	未収入金	43
	その他	961
	資産合計	49,111
運用状況		

負債の部		
I	固定負債	6,731
	資産見返負債	2,953 ※1)
	長期寄附金債務	211
	長期借入金	1,170
	引当金	4
	長期未払金	2,392
II	流動負債	5,643
	運営費交付金債務	229
	寄附金債務	546 ※2)
	前受受託研究費等	161
	1年以内返済長期借入金	260
	未払金	4,304 ※3)
	その他	143
	負債合計	12,374

純資産の部		
I	資本金	34,585 ※4)
II	資本剰余金	▲ 246 ※5)
III	利益剰余金	2,397
	目的積立金	1,469 ※6)
	積立金	667 ※7)
	当期末処理利益	262
	純資産合計	36,737
	負債・純資産合計	49,111
調達源泉		

【流動資産】
資産のうち、1年以内に現金化されるもの

【固定資産】
業務目的を達成するために所有し、加工若しくは売却を予定しない財貨

【純資産】
業務実施のため与えられた財産的基礎、及び業務に関連した剰余金

【流動負債】
負債のうち、1年以内に返済または支払うもの

【固定負債】
負債のうち、1年を超える長期にわたって返済または支払うもの

- ※1)資産見返負債～運営費交付金、授業料、寄附金等を財源として資産を取得した場合、取得時に資産同額の負債を計上します。当該資産の減価償却相当額を資産見返負債戻入として収益化し、収支均衡を行うための独自の勘定科目です。
- ※2)寄附金債務～翌期以降に使用される予定で繰越される寄附金の残高
- ※3)未払金～1年以内に支払予定の人件費・リース債務に係る未払金及びその他の未払金
- ※4)資本金～道出資金(法人移行時に道から現物出資を受けた土地、建物等)の総額となります。
- ※5)資本剰余金～目的積立金や施設費で固定資産を取得した時、または非償却資産の取得時に、相当額を計上します。当該資産で生じる減価償却相当額は費用化せずに資本金剰余金から直接控除(損益外減価償却)します。
- ※6)目的積立金～自己収入の獲得増や効率的運用により生じた剰余金
- ※7)積立金～経営努力によらない剰余金、翌期以降の損失の補填に充当します。

損益計算書～法人の運営状況を明らかにするもの

注)各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位:百万円)

費用

経常費用	28,880
業務費	28,244
教育経費	692
研究経費	952
診療経費	11,191
教育研究支援経費	383 ※1)
受託研究費	428
受託事業費	49
人件費	14,551
一般管理費	625
財務費用	11 ※2)

【業務費】

- ・目的別に「教育」「研究」「診療」「人件費」等に分類
- ・「教育経費」「研究経費」等の業務費は、建設設備に係る減価償却費及び保守経費を含む
- ・「受託研究費」「受託事業費」は受託研究等に係る人件費を含む

収益

経常収益	29,151
運営費交付金収益	6,884
授業料等収益	889
附属病院収益	19,029
受託研究等収益	485
受託事業等収益	59
寄附金収益	439
施設費収益	85
補助金収益	525
資産見返負債戻入	539 ※3)
財務収益	4
雑益	214

【経常収益】

- ・「運営費交付金」及び「授業料」は、資産を取得した分を除いた収益
- ・「運営費交付金」「寄附金」等で翌期以降に使用予定分は、債務(流動負債)として翌期へ繰越

経常利益	271
臨時損失	9
臨時利益	0
当期純利益	262
目的積立金取崩額	0 ※4)
当期総利益	262

【臨時損失】

- ・臨時損失は、固定資産の除却を計上

※1)教育研究支援経費～附属情報センター等の大学全体の教育研究を支援する施設の運営経費です。

※2)財務費用～附属病院にかかる借入金の支払利息(償還利率1.05%)

※3)資産見返負債戻入～運営費交付金、授業料、寄附金等の財源で取得した固定資産の減価償却に伴って収益計上し、損益を均衡させます。

※4)目的積立金取崩額～目的積立金を財源とした費用相当額を計上します。平成21年度においては、目的積立金を取り崩していません。

キャッシュ・フロー計算書～現金の出し入れを明らかにするもの

注)各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位:百万円)

I 業務活動によるキャッシュフロー	1,727
原材料、商品又はサービスの購入による支出	▲ 12,263
人件費	▲ 14,486
その他の業務支出	▲ 600
運営費交付金収入	7,002
授業料収入	670
入学金収入	94
検定料収入	16
附属病院収入	18,913
受託研究等収入	495
受託事業等収入	68
補助金等収入	1,045
寄附金収入	548
預かり科学研究費補助金等増減	7
その他収入	217
国庫納付金による支払額	0
II 投資活動によるキャッシュフロー	▲ 582
有形固定資産の取得による支出	▲ 1,208
無形固定資産の取得による支出	0
有価証券償還による収入	100
施設費による収入	522
利息及び配当金の受領額	4
III 財務活動によるキャッシュフロー	▲ 210
長期借入れによる収入	520
長期借入金返済による支出	▲ 130
ファイナンスリース債務の返済による支出	▲ 589
利息の支払額	▲ 11
IV 資金に係る換算差額	0
V 資金増加額(I + II + III + IV)	935
VI 資金期首残高	1,394
VII 資金期末残高(V + VI)	2,329

【業務活動】
教育・研究・診療など通常業務に伴う資金の出入りを表すもの

業務活動による資金調達 17億円

【投資活動】
固定資産取得や売却、余裕金の運用など投資活動に伴う資金の出入りを表すもの

投資活動への資金利用 ▲6億円

【財務活動】
借入金による資金の調達や返済など財務活動に伴う資金の出入りを表すもの

財務活動への資金利用 ▲2億円

平成21年度キャッシュ増加額
9億円

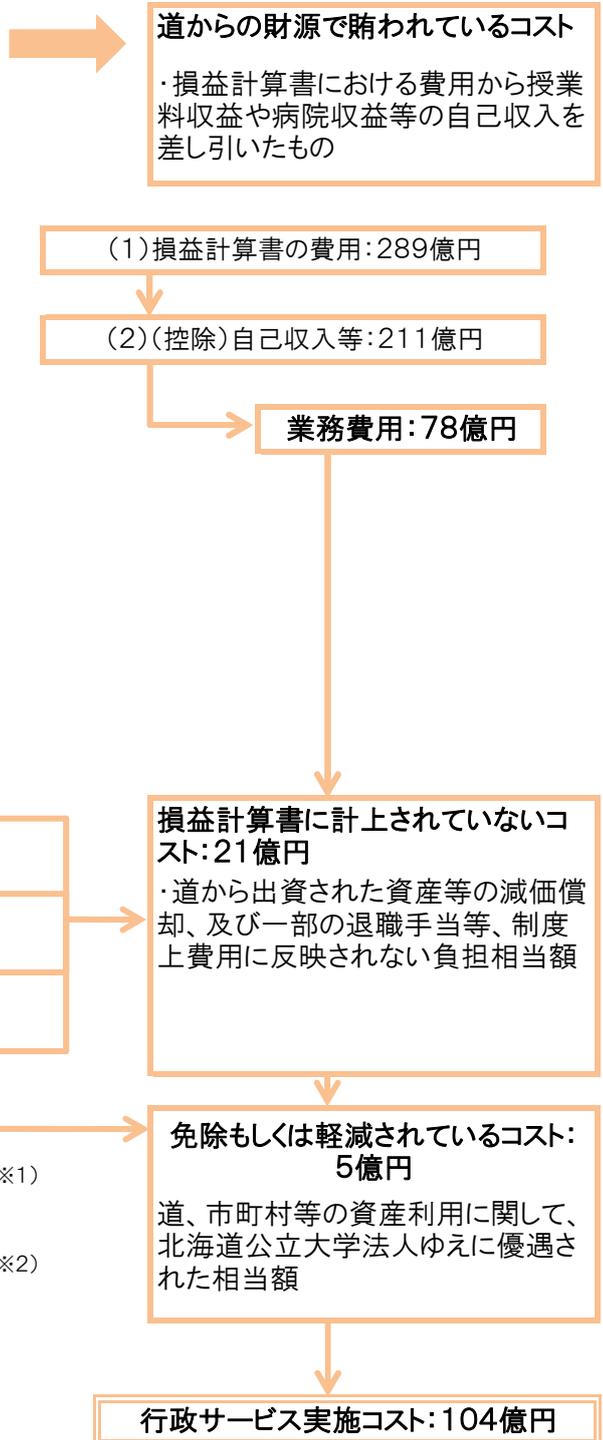
注)キャッシュ・フロー計算書とは、資金の調達や運用状況を明らかにするため、一会計期間の資金の流れを「業務活動」・「投資活動」・「財務活動」の3つの区分に分けて表示し、報告するものです。

行政サービス実施コスト計算書～住民等が負担するコストを明らかにするもの

注)各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位:百万円)

I 業務費用	7,847
(1)損益計算書上の費用	28,889
業務費	28,244
一般管理費	625
財務費用	11
臨時損失	9
(2)(控除)自己収入等	▲ 21,042
授業料収益・入学生料収益・検定料収益	▲ 889
附属病院収益	▲ 19,029
受託研究等収益	▲ 485
受託事業等収益	▲ 59
寄附金収益	▲ 439
資産見返運営費交付金等戻入	0
資産見返寄附金戻入	▲ 30
財務収益	▲ 4
雑益	▲ 108
臨時利益	0
II 損益外減価償却費等相当額	831
III 損益外減損損失相当額	0
IV 引当外賞与増加見積額	274
V 引当外退職給付増加見積額	980
VI 機会費用	494
・国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	16 <small>※1)</small>
・地方公共団体出資の機会費用	478 <small>※2)</small>
VII (控除)国庫納付金	0
VIII 行政サービス実施コスト	10,426



※1)道、市町村等の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法
近隣の地代や賃借料を参考に計算しています。

※2)地方公共団体出資の機会費用の計算に使用した利率
平成22年3月31日における10年国債の利回りを参考に1.395%で計算しています。

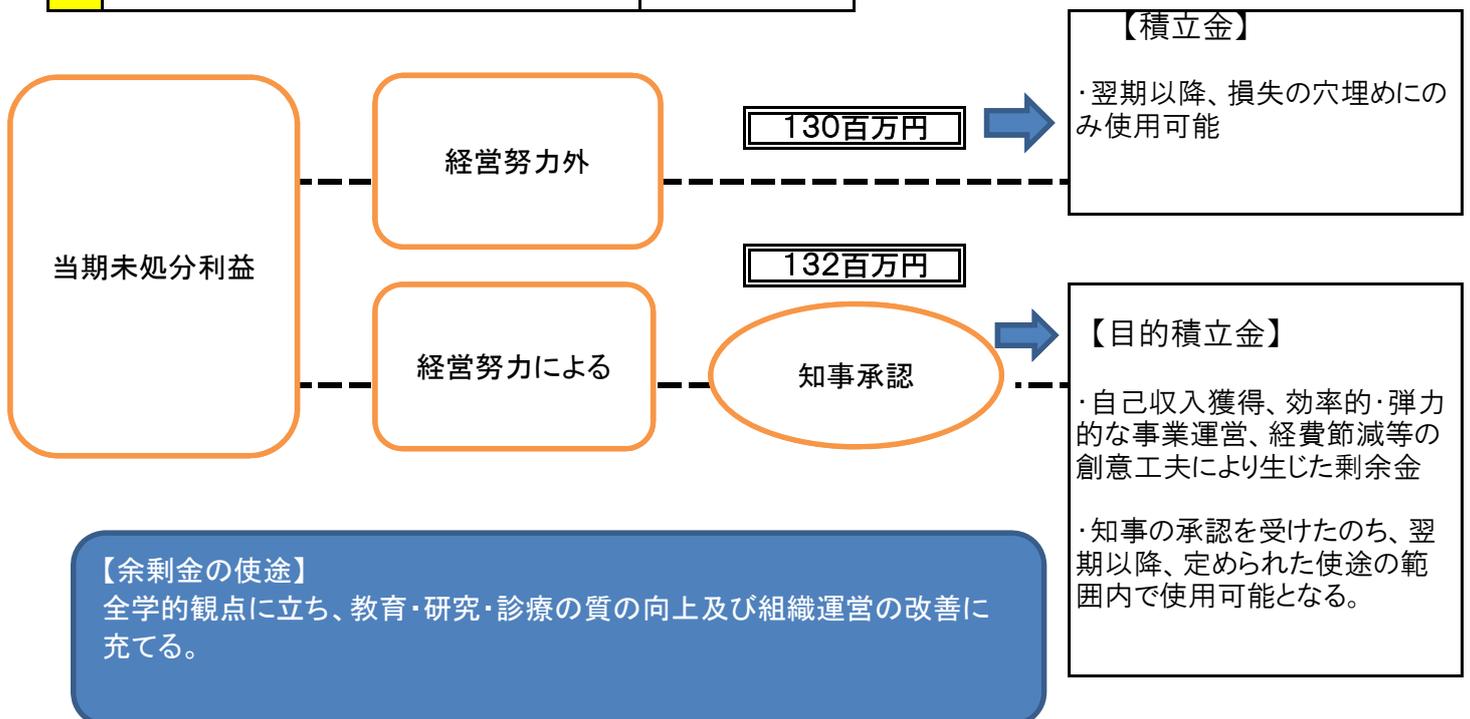
利益の処分に関する書類

注)各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位:百万円)

I 当期末処分利益	
当期総利益	262

II 利益処分類	
目的積立金	132
積立金	130



※公立大学法人には、株主のような営利目的の資本主が存在しませんので、利益を資本に配分することはありません。

そのため、獲得した利益のうち、運営努力(経営努力)から生じた利益については、北海道知事の承認を受けた後、次年度以降の教育・研究・診療を充実させるために中期計画の「剰余金の使途」に従って使用することが認められています。

決算報告書～予算の区分による決算を明らかにするもの

注)各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位:百万円)

区 分	予算	決算	差額	備考
収入	29,621	31,497	1,876	
運営費交付金	7,113	7,122	9	(注1)
施設整備費補助金	591	1,105	514	(注2)
自己収入	20,229	21,143	914	
授業料及び入学検定料収入	916	889	▲ 27	(注3)
附属病院収入	18,734	19,029	295	(注4)
雑収入	579	1,225	646	(注5)
受託研究等収入及び寄附金収入等	953	1,607	654	(注6)
長期借入金収入	520	520	0	
目的積立金取崩収入	215	0	▲ 215	(注7)
支出	29,621	30,254	633	
業務費	27,200	27,770	570	
教育研究経費	1,613	2,079	466	(注8)
診療経費	9,848	10,578	730	(注9)
人件費	15,014	14,551	▲ 463	(注10)
一般管理費	725	562	▲ 163	(注11)
施設整備費	1,326	1,625	299	(注12)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	953	718	▲ 235	(注13)
長期借入金償還金	142	141	▲ 1	
収入－支出	0	1,243	1,243	

注) 決算報告書とは、公立大学法人等の運営の見込みである年度計画の予算と決算を対比して表すことにより、その運営状況を報告しようとするものです。官庁会計に準じ、現金主義を基礎としつつ出納整理期の考え方を踏まえて一部発生主義を取り入れたもので、収入・支出ベースで表示しています。

- (注1) 北海道からの運営費交付金債務繰越による充当について通知があったことにより、予算額に比して決算額が9百万円増加しました。
- (注2) 細胞調製施設整備費及びホルムアルデヒド対策整備費が新たに措置されたことにより、予算額に比して決算額が514百万円増加しました。
- (注3) 研究生等の減少により攻読料等が減となったことにより、予算額に比して決算額が27百万円減少しました。
- (注4) 外来患者数の増により、予算額に比して決算額が295百万円増加しました。
- (注5) 研究拠点形成費等補助金の獲得などにより、646百万円増加しました。
- (注6) 寄附金及び受託研究の獲得に努めたことや前年度からの繰越等があったことにより、予算額に比して決算額が654百万円増加しました。
- (注7) 細胞調製施設の整備を予定していたが、施設整備補助金として措置されたことより、取り崩しを行いませんでした。
- (注8) 注5に示した理由により、教育経費が増となったため、予算額に比して決算額が466百万円増加しました。
- (注9) 医療材料費等の増により、予算額に比して決算額が730百万円増加しました。
- (注10) 教職員人件費等の減により、予算額に比して463百万円減少しました。
- (注11) 光熱水費等の減により、予算額に比して163百万円減少しました。
- (注12) 注2に示した理由等により、予算額に比して決算額が299百万円増加しました。
- (注13) 寄附金事業費等の減により、予算額に比して決算額が235百万円減少しました。

○過去3年間の推移

財務情報一覧

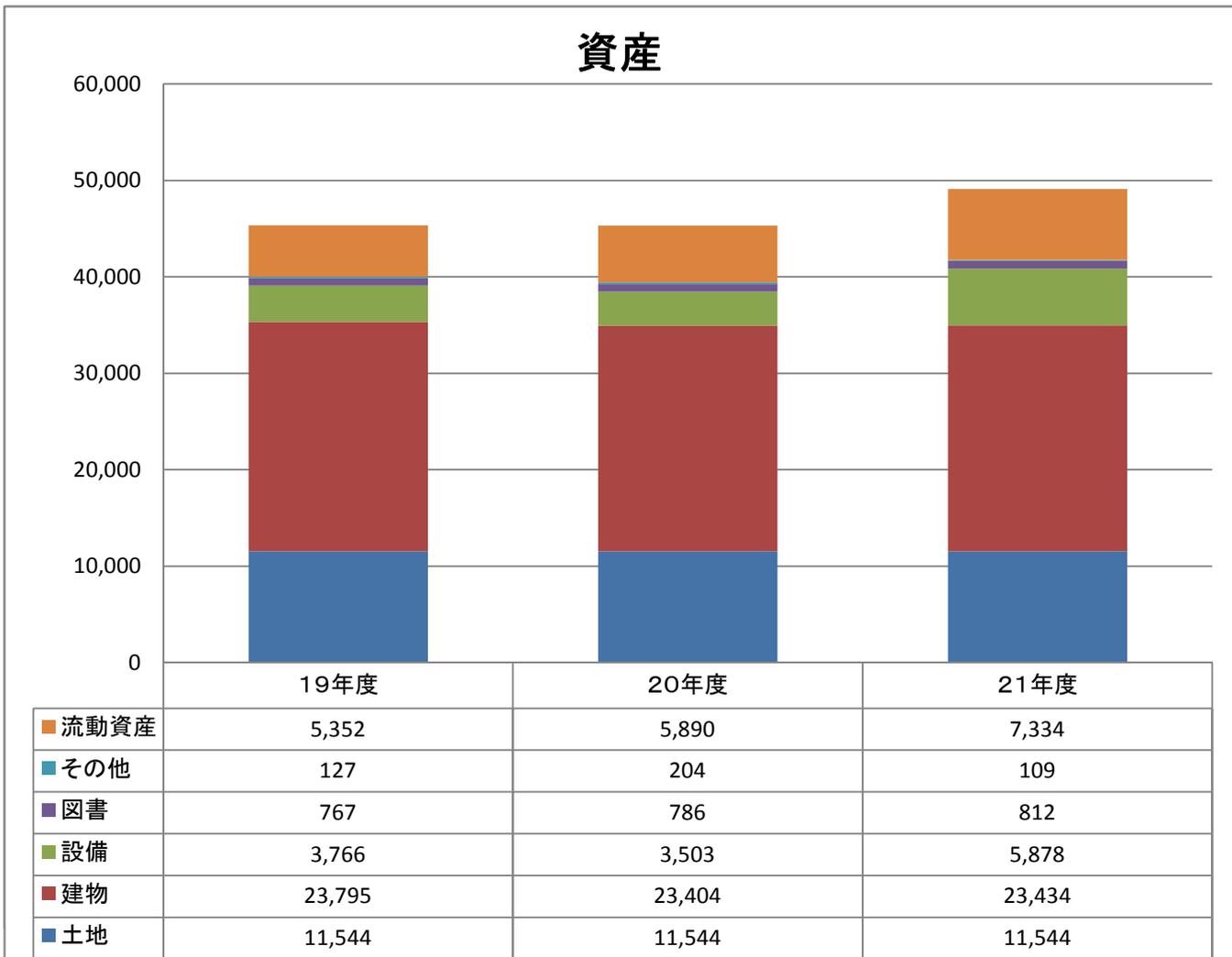
- 本学の財務情報を一覧で表示しています。
- 各項目の詳細については、それぞれのページを参照願います。

(単位:億円)

区分	情報の種類	項目等	19年度	20年度	21年度	備考
資産・負債・純資産	年度末時点での財務の状況	資産	454	453	491	P10~P11
		うち固定資産	400	394	418	
		負債	93	90	124	
		うち借入金	5	9	12	
		純資産	360	363	367	
費用・収益	1年間の財務運営の状況	経常費用	269	277	289	P12~P13
		うち人件費	136	144	146	
		経常収益	279	284	292	
		うち運営費交付金	66	70	69	
利益と利益処分	利益の発生要因	当期総利益	15	7	3	P14
		目的積立金	9	6	2	
		積立金	6	1	1	
附属病院業務損益	附属病院の1年間の財務運営状況	業務費用	195	195	208	P15
		業務収益	199	197	206	
		業務利益	4	2	▲ 2	
キャッシュ・フロー	資金の流れ(活動ごとの現金の収入と支出の差)	業務活動	14	17	17	P16
		投資活動	▲ 6	▲ 9	▲ 6	
		財務活動	▲ 1	▲ 1	▲ 2	
		資金期末残高	7	14	23	
業務実施コスト	本学への住民負担	実施コスト	92	82	104	P17

注)各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

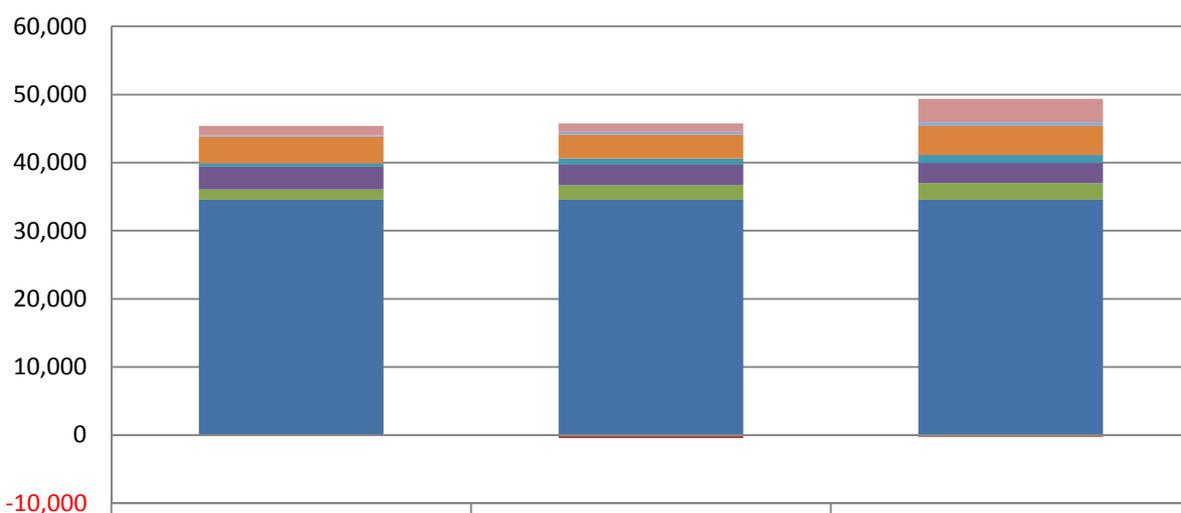
資産



(単位:百万円)

区分	21年度	構成比	資産説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
流動資産	流動資産	14.9%	・現預金、有価証券(1年以内) ・未収附属病院収入 ・未収学生納付金収入 ・病院医薬品在庫	1,444	・現預金増935 ・未収附属病院収入増101 ・未収入金増465 ・病院医薬品在庫▲50
固定資産	図書等	その他	・特許権 ・有価証券(1年超)	▲ 95	・有価証券▲110(流動資産へ)
	図書	図書	・書籍 ・CD-ROM ・雑誌(製本済みのもの)	26	・当期取得27 ・除去1 ・蔵書数21年度末193,184冊
	設備建物	設備	・実験、診療器具 ・車両運搬具	2,375	・当期取得4,500 【減価償却負担▲1,500】 ・医療情報システム等
	建物	建物	・校舎、研究所 ・病院 ・宿舎、学生寮 ・ファミリーハウス	30	・当期取得額900 【減価償却負担▲900】 ・施設の改修工事 ・細胞調製施設新設
土地	土地	23.5%	・上記の敷地 ・グラウンド	0	・昨年度と同

負債・純資産

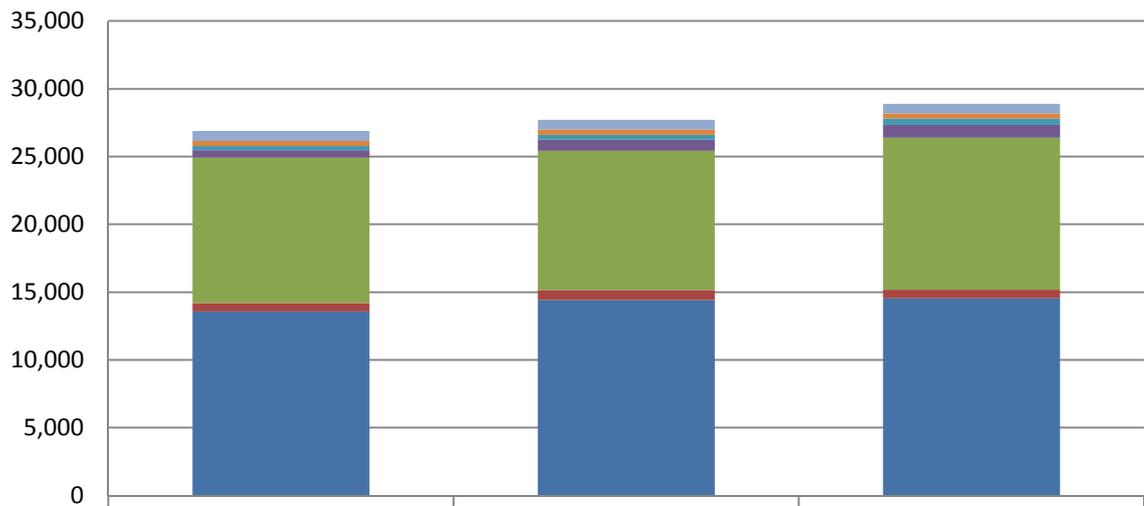


	19年度	20年度	21年度
■ その他債務	1,402	1,189	3,401
■ 寄附金債務	206	464	546
■ 未払金	3,888	3,506	4,304
■ 借入金	520	910	1,170
■ 資産見返負債	3,292	2,967	2,953
■ 利益剰余金	1,500	2,135	2,397
■ 資本剰余金	-43	-425	-246
■ 資本	34,585	34,585	34,585

(単位:百万円)

区分	21年度	構成比	負債・純資産説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
負債	その他負債	その他債務	・繰越して使用予定の交付金 ・繰越して使用予定の受託研究費 ・預り科学研究費補助金等	2,212	・リース債務増1,947 ・運営費交付金債務増41 ・一年未満長期借入金増130
		寄附金債務	・繰越して使用予定の寄附金	82	・寄附金債務増82
		未払金	・平成22年4月支払いの経費	798	・施設費関係の業者への未払
		借入金	・大学病院の借入金残高(機器整備)	260	・北海道からの借入金増260
		資産見返負債	・建築設備取得に使用した交付金、 授業料、寄附金の減価償却費を除いた残高	▲ 14	・補助金財源による取得増388 ・道からの承継資産分の償却額▲440
純資産	利益剰余金	・目的積立金(20年度以前分) ・積立金(20年度以前分) ・未処分利益(当期総利益)	262	・当期総利益262	
	資本剰余金	・施設費や目的積立金で固定資産の 取得額 ・当期の損益外減価償却累計額	179	・20年度期末残高▲424 ・施設整備補助金財源取得1,010 ・当期損益外減価償却累計▲831 ・21年度期末残高▲245	
	資本	・法人移行時に道から土地・建物等の 現物で受けた出資金	0	・昨年度と同	

経常費用

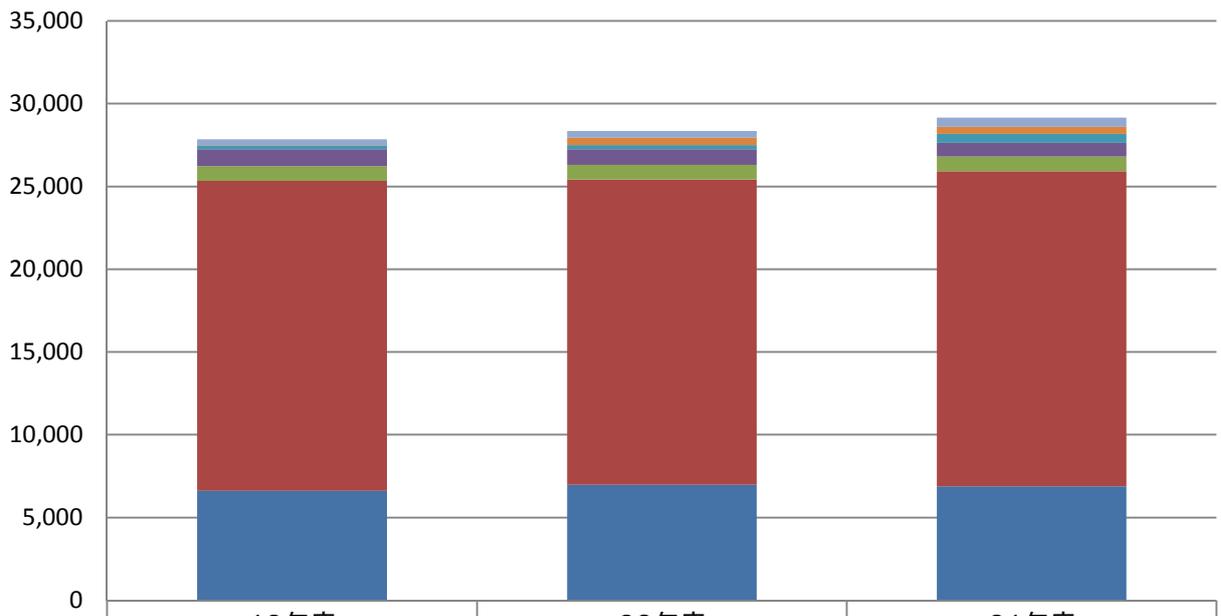


区分	19年度	20年度	21年度
教育経費	743	703	692
教育研究支援経費	383	404	383
受託研究費等	300	355	477
研究経費	540	816	951
診療経費	10,739	10,276	11,191
一般管理費等	607	731	636
人件費	13,581	14,421	14,551

(単位:百万円)

区分	21年度	構成比	費用説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
教育	教育経費	2.4%	・学生に対し行われる教育に要する経費	▲ 11	・減価償却費▲14
	教育研究支援経費	1.3%	・附属総合情報センター(図書館含む)に要する経費	▲ 21	・システム更新等による減
研究	受託研究等	1.6%	・外部から委託を受けて行う受託研究 ・民間等からの研究者及び研究費を受入、共同で行う研究	122	・受入プロジェクト増による費用増
	研究経費	3.3%	・研究に要する経費	135	・文部科学省補助金受入に伴う費用増
診療	診療経費	38.7%	・大学病院における診療の実施に要する経費	915	・病院収益の増に伴う費用増 ・医薬材料費の増
管理運営	一般管理費等	2.2%	・管理運営に要する経費 ・財務費用	▲ 95	・光熱水費等の節約
	人件費	50.4%	・一般運営財源、寄附金、補助金を財源とする給与等(受託に係る人件費は含まない)	130	・外部資金の獲得による非常勤職員等の増加 ・退職手当の増等

経常収益



	19年度	20年度	21年度
■ 受託等	360	407	544
■ 寄附金	13	442	439
■ 補助金	224	257	525
■ その他	1,030	956	841
■ 学生納付金	890	876	889
■ 病院収益	18,735	18,449	19,029
■ 交付金	6,603	6,973	6,884

(単位: 百万円)

区分	21年度	構成比	収益説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
外部資金	受託等	1.9%	・受託研究 ・受託事業 ・共同研究	137	・受入プロジェクト増 (H20:149件、H21:223件)
	寄附金	1.5%	・奨学寄付金 ・寄附講座	▲ 3	・ほぼ前年度並みの水準
	補助金	1.8%	・大学改革推進費(GP)	268	・文部科学省補助金の獲得213
その他	その他	2.9%	・研究関連収入(間接経費) ・財産貸付料収入 ・資産見返負債戻入 ・受取利息	▲ 115	・資産見返負債戻入(道からの継承資産)の減価償却見合収益化減 ▲113
学納金	学生納付金	3.0%	・授業料 ・入学料 ・検定料	13	・学生数の増
診療	病院収益	65.3%	・附属病院収入(外来・入院)	580	・入院診療収益増299 ・外来診療収益増281
交付金	運営費 交付金	23.6%	・運営費交付金収入	▲ 89	・効率化係数による交付額の減少等

利益と利益処分の推移

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
経常収益	27,855	28,360	29,151
経常費用	26,892	27,706	28,880
経常利益	963	654	271
臨時損益	537	▲ 13	▲ 9
目的積立金取崩	0	40	0
当期総利益	1,500	681	262

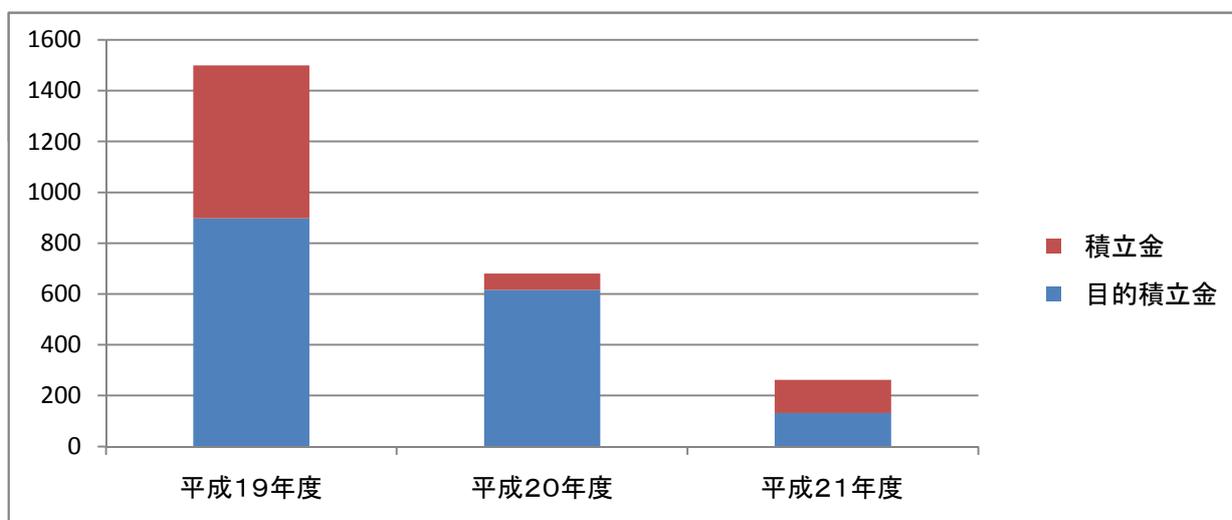
当期総利益の内訳

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
目的積立金	898	616	132
積立金	602	65	130

○経常利益は、損益計算書に計上している経常収益と経常費用の差額です。

○当期総利益は、経常利益に固定資産除却損等の臨時損益を加えた利益であり、目的積立金と積立金に利益処分されます。



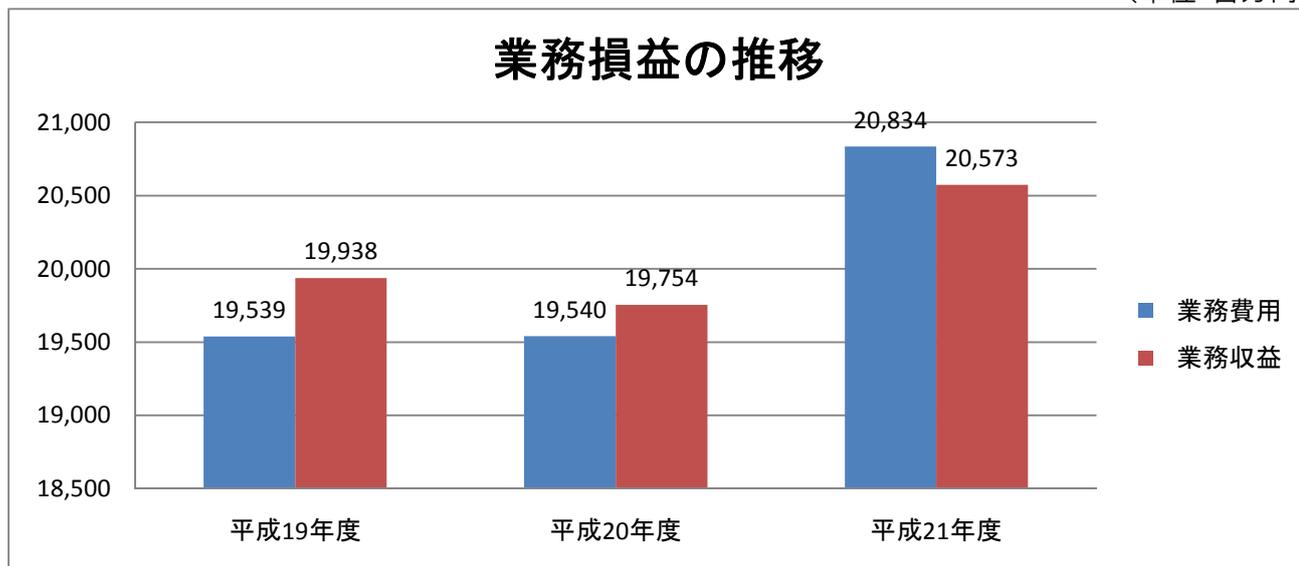
21年度	利益処分	利益処分の発生要因等
当期総利益 262千円	目的積立金 132千円	(主な発生要因) ・欠員不補充等による人件費の節減 ・外部資金の獲得による財源の振り替えや契約の見直しなどによる各種経費の節減
	積立金 130千円	(主な発生要因) ・医療情報システムの導入会社の破産に伴い、新たに発生した新会社への事業承継経費及び新システム導入経費への対応として、運営費交付金が一時的に措置されました。 この措置による利益については、経営努力によらない利益として、積立金としています。

附属病院業務損益の推移

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
業務費用	19,539	19,540	20,834
業務収益	19,938	19,754	20,573
業務損益	399	214	▲ 261

(単位:百万円)



【業務費用】

(単位:百万円)

21年度		業務費用説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
その他	99	・教育経費、研究経費、受託研究費、受託事業費 ・財務費用	8	・借入償還金の増に伴う支払利息の増等
	0.5%			
人件費	9,544	・臨床系教員 ・医員、研修医 ・看護師、技師、事務職員	371	・教員人件費のセグメント区分表示方法変更増171 ・退職手当の増等
	45.8%			
診療経費	11,191	・診療の実施に要する経費(医薬品、診療材料、医療消耗器具費、委託費、減価償却費、修繕費、機器保守費、水道光熱費等経費)	915	・病院収益の増に伴う費用増 ・医薬材料費の増730 ・機器保守の増92
	53.7%			

【業務収益】

(単位:百万円)

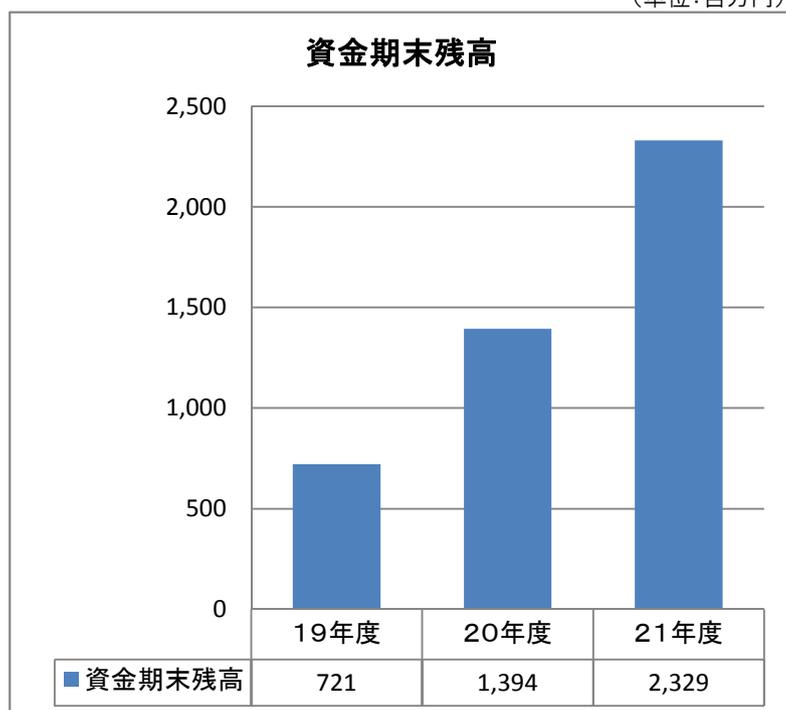
21年度		業務収益説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
その他	707	・受託研究、寄附金等外部資金収益 ・資産見返負債戻入等	26	・補助金収益増等
	3.4%			
病院運営費 交付金収益	837	・附属病院に係る交付金	213	・教員人件費のセグメント区分表示方法変更増171 ・退職手当の増などに伴う収益増
	4.1%			
病院収益	19,029	・外来収益 ・入院収益 ・文書料	580	・入院診療収益増299 ・外来診療収益増281
	92.5%			

キャッシュ・フローの推移

(単位:百万円)

表示区分	説明	平成19年度	平成20年度	平成21年度
①業務活動による キャッシュ・フロー	通常の業務活動(投資・財務活動以外)の取引に係る収入と支出の差額	1,434	1,681	1,727
	(収入)運営費交付金、附属病院収入、授業料、受託研究等、寄附金	24,581	27,886	29,076
	(支出)人件費支出、原材料・商品・サービス購入による支出	▲ 23,147	▲ 26,205	▲ 27,349
②投資活動による キャッシュ・フロー	資産の取得及び売却等の取引に係る収入と支出の差額	▲ 660	▲ 883	▲ 582
	固定資産の取得及び売却の取引	▲ 660	▲ 891	▲ 686
	(収入)施設費による収入、資産売却による収入	0	841	522
	(支出)建物・設備の取得、除却	▲ 660	▲ 1,732	▲ 1,208
	投資資産の取得及び売却の取引	0	8	104
	(収入)定期預金の払戻、有価証券の償還	0	8	2,404
	(支出)定期預金・有価証券の取得	0	0	▲ 2,300
③財務活動による キャッシュ・フロー	資金調達及び返済の取引に係る収入と支出の差額	▲ 53	▲ 125	▲ 210
	(収入)長期借入による収入	520	520	520
	(支出)借入金の返済、利息の支払、ファイナンスリース債務の返済	▲ 573	▲ 645	▲ 730
④資金増減額	当期中の現預金(拘束性のない手元現金・当座預金・普通預金)増減額	721	673	935
⑤資金期首残高	前期末現預金残高	0	721	1,394
⑥資金期末残高	当期末現預金残高	721	1,394	2,329

(単位:百万円)



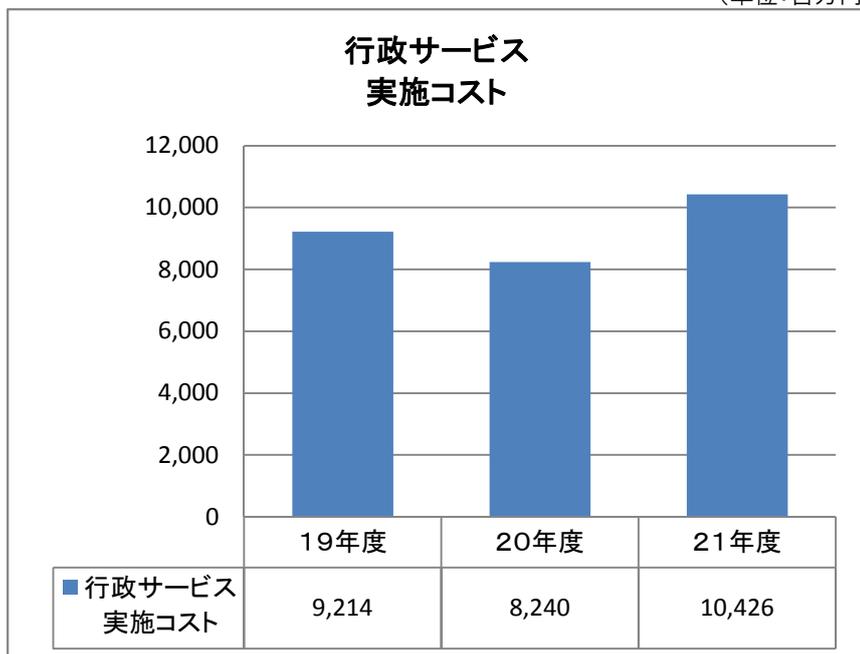
○キャッシュ・フロー計算書は、一定期間における「お金(キャッシュ)」の「流れ(フロー)」を表しています。損益計算書には表れない固定資産取得や借入・借入返済等も含めて、「現金」の受払の全てを表示しています。損益計算書からだけでは読み取ることができない経営状況、経営努力、経営方針等を把握することが可能であり、民間企業においても重視されている計算書です。

業務実施コストの推移

(単位:百万円)

	表示区分	説明	平成19年度	平成20年度	平成21年度	特記事項
機会費用	国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借引取の機会費用	国や地方公共団体から市場価格よりも廉価で賃借している土地等(職員宿舍、課外活動敷地など)について市場価格で賃借したならば得られたはずの金額を国民が得られなかった利益喪失の費用として認識する。	16	16	16	
	地方公共団体出資の機会費用等	出資金、地方公共団体から拠出された資本剰余金等について、その金額を市場で運用したならば得られたはずの金額を国民が得られなかった利益喪失の費用として認識する。	390	460	478	
損益外減価償却等	損益外減価償却等相当額 損益外減損損失相当額	施設費等で取得した建物に係る減価償却費等は、損益計算書に費用として反映させていないが、最終的には国民負担となるため、業務運用費用と認識する。	743	790	831	
	引当外賞与増加見積額 引当外退職給付増加見積額	運営費交付金を財源とする教職員に係る賞与と退職金は、損益計算書に費用(引当金)として反映させていないが、最終的には国民負担となるため業務運営費用と認識する。	549	▲ 440	1,254	
業務費用	損益計算書上の費用	経常費用と臨時損失の合計	27,685	27,725	28,889	
	(控除)自己収入等	自己収入(授業料、病院収益等) ※国民負担ではないので控除する。	▲ 20,169	▲ 20,311	▲ 21,042	
行政サービス実施コスト			9,214	8,240	10,426	

(単位:百万円)



○公立大学法人は、その業務を行うために、納税者である国民から、財産(税金・土地・建物等)を負託されています。このため「行政サービス実施コスト計算書」を作成して、最終的に国民の負担となるコストを示しています。民間にはない財務諸表です。

○通常コスト情報としては損益計算書中の費用の部が挙げられますが、そこから法人の自己収入分を減じたものに制度上費用に含まれない退職給付引当金の負担増加額や国が政策的に免除している経費を加えることにより、大学の運営に要したコスト負担額をより明らかにするものです。

○財務指標(年度間比較)

指標	指標算出方法	平成19年度	平成20年度	平成21年度	増△減(前年比較)	評価(※2)
流動比率 【貸借対照表】	流動資産÷流動負債	117.1 %	130.9 %	129.9 %	▲ 0.9 %	↓ 高い値が良い
	流動資産	5,352 百万円	5,890 百万円	7,333 百万円	1,443 百万円	
	流動負債	4,569 百万円	4,500 百万円	5,643 百万円	1,143 百万円	
自己資本比率 【貸借対照表】	資本(純資産)÷(負債+資本(純資産))	79.5 %	80.1 %	74.8 %	▲ 5.3 %	↓ 高い値が良い
	資本(純資産)	36,042 百万円	36,295 百万円	36,736 百万円	441 百万円	
	負債	9,308 百万円	9,036 百万円	12,374 百万円	3,338 百万円	
	負債+資本(純資産)	45,350 百万円	45,331 百万円	49,110 百万円	3,779 百万円	
経常利益比率 【損益計算書】	経常利益÷経常収益	3.5 %	2.3 %	0.9 %	▲ 1.4 %	↓ 高い値が良い
	経常利益	963 百万円	654 百万円	270 百万円	▲ 384 百万円	
	経常収益	27,855 百万円	28,360 百万円	29,151 百万円	791 百万円	
人件費対業務費 【損益計算書】	人件費÷業務費	51.7 %	53.5 %	51.5 %	▲ 1.9 %	↓ 低い値が良い
	人件費	13,581 百万円	14,421 百万円	14,551 百万円	130 百万円	
	業務費	26,286 百万円	26,975 百万円	28,244 百万円	1,269 百万円	
一般管理費対業務費 【損益計算書】	一般管理費÷業務費	2.3 %	2.7 %	2.2 %	▲ 0.5 %	↓ 低い値が良い
	一般管理費	607 百万円	726 百万円	625 百万円	▲ 101 百万円	
	業務費	26,286 百万円	26,975 百万円	28,244 百万円	1,269 百万円	
外部資金比率 【損益計算書】	(受託研究等収益+受託事業等収益+寄附金収益)÷経常収益	2.1 %	3.0 %	3.4 %	0.4 %	↑ 高い値が良い
	①受託研究収益+受託事業収益	360 百万円	407 百万円	544 百万円	137 百万円	
	②寄附金収益	224 百万円	442 百万円	439 百万円	▲ 3 百万円	
	経常収益	27,855 百万円	28,360 百万円	29,151 百万円	791 百万円	
外部資金比率 (科学研究費補助金を含む) 【損益計算書】 【附属明細書】	(受託研究等収益+受託事業等収益+寄附金収益+科学研究費補助金)÷経常収益	4.7 %	5.0 %	5.4 %	0.5 %	↑ 高い値が良い
	上記 ①+②	584 百万円	849 百万円	983 百万円	134 百万円	
	科学研究費補助金	736 百万円	566 百万円	605 百万円	39 百万円	
	経常収益	27,855 百万円	28,360 百万円	29,151 百万円	791 百万円	
診療経費比率 【損益計算書】	診療経費÷附属病院収益	57.3 %	55.7 %	58.8 %	3.1 %	↑ 低い値が良い
	診療経費	10,739 百万円	10,276 百万円	11,191 百万円	915 百万円	
	附属病院収益	18,735 百万円	18,449 百万円	19,029 百万円	580 百万円	
1病床あたりの附属病院収益 【損益計算書】	附属病院収益÷病床数	20.0 百万円	19.7 百万円	20.3 百万円	0.6 百万円	↑ 高い値が良い
	附属病院収益	18,735 百万円	18,449 百万円	19,029 百万円	580 百万円	
	病床数	938 床	938 床	938 床	0 床	
学生1人あたりの教育経費 【損益計算書】 【事業報告書】	教育経費÷学生数	609 千円	573 千円	551 千円	▲ 23 千円	↓ 高い値が良い
	教育経費	743 百万円	703 百万円	691 百万円	▲ 12 百万円	
	学生数	1,221 人	1,226 人	1,255 人	29 人	
教員1人あたりの研究費 【損益計算書】 【事業報告書】	研究経費÷教員数	1,425 千円	2,119 千円	2,447 千円	327.82 千円	↑ 高い値が良い
	研究経費(※1)	540 百万円	816 百万円	952 百万円	136 百万円	
	教員数	379 人	385 人	389 人	4 人	
教育経費対業務費比率 【損益計算書】	教育経費÷業務費	2.8 %	2.6 %	2.4 %	▲ 0.2 %	↓ 高い値が良い
	教育経費	743 百万円	703 百万円	691 百万円	▲ 12 百万円	
	業務費	26,286 百万円	26,975 百万円	28,244 百万円	1,269 百万円	
研究経費対業務費比率 【損益計算書】	研究経費÷業務費	2.1 %	3.0 %	3.4 %	0.3 %	↑ 高い値が良い
	研究経費(※1)	540 百万円	815 百万円	952 百万円	137 百万円	
	業務費	26,286 百万円	26,975 百万円	28,244 百万円	1,269 百万円	

(※1)平成19年度の研究経費については、寄附金による研究経費支出が少ない。平成19年9月末までの寄附金は、(財)札幌医科大学学術振興会の取り扱いであったため法人の財務諸表には反映されていない。

(※2)財務指標の評価は、個々の内部事情を個別に判断しなければ一概にその良否を言えないが、あくまで一般的な財務指標の高低の評価を記載した。

資料編

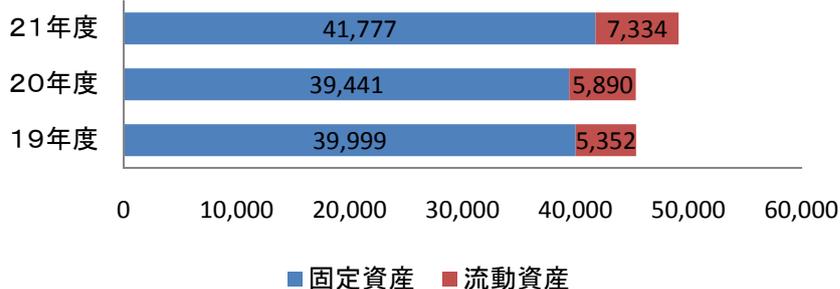
○貸借対照表

資産の部

49,111 百万円

対前年度

3,780 百万円増加



・資産の約8割は土地、建物等の固定資産により構成されており、そのほとんどは平成19年4月1日の公立大学法人化により、道から承継されたものです。

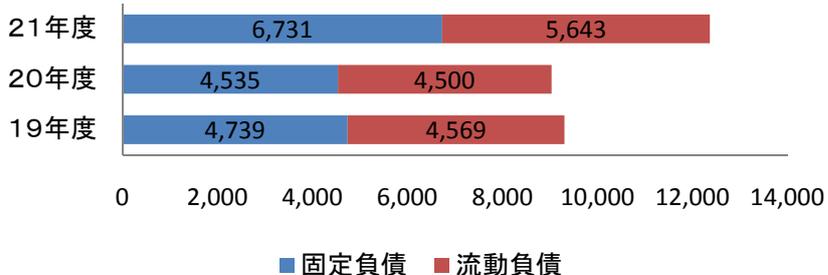
計画的な施設整備・維持・充実を図っており、平成21年度については、細胞調製施設の完成、解剖実習室の改修工事や教育・研究・診療の機械備品等の更新により資産が増加しています。

負債の部

12,374 百万円

対前年度

3,338 百万円増加



・負債は会計基準上の分類である固定・流動の別の他に将来的に支払義務を負う債務(借入金等)と支払義務のない会計的負債(資産見返負債等)に分類できます。平成21年度については、長期借入金や医療情報システム等のリース代等の長期未払金の増加や短期の未払金である流動負債など支払い義務のある負債が増加したことによるものです。

純資産の部

36,737 百万円

対前年度

441 百万円増加



・純資産には公立大学法人化の際に道から出資された資本金(道出資金)の他に、資本の増減取引により発生する資本剰余金と業務の遂行上で生じた利益からなる利益剰余金があります。平成21年度は当期利益が3億円あり、利益剰余金が増加しています。

資 産

土地	11,544 百万円	対前年度	0 百万円
建物等	23,434 百万円	対前年度	30 百万円
建物仮勘定	9 百万円	対前年度	9 百万円

札幌市内、利尻富士町併せて約10万㎡の敷地を有し、キャンパスの他、臨床教育研究棟、附属病院、基礎医学研究棟、国際医学交流センター、記念ホール、臨海研究所(利尻富士町)などの施設を有している。平成21年度については、細胞調製施設の完成や解剖実習室等の改修工事、その他施設の長期保全計画に基づく空調機更新工事や電力設備更新工事などの施設の整備・維持・充実に努めました。

機械備品	5,878 百万円	対前年度	2,376 百万円
図書・美術品	834 百万円	対前年度	26 百万円

機械備品は、教育・研究・診療等で使用する機械装置の取得や科学研究費補助金等による備品の現物寄附などにより減価償却額を上回って増加しており、運営に必要な資産について適切な設備更新に努めています。また、図書・美術品は教育研究を行う上で基礎となる重要な資産に位置づけられており、教育・研究の品質の維持向上のため、図書整備経費を確保しています。

現金・預金	2,329 百万円	対前年度	935 百万円
-------	-----------	------	---------

期末の現金・預金は、利益剰余金のほか、主に年度末の未払金見合いの現金や寄附金等の外部資金の繰越額等からなります。

未収入金	3,596 百万円	対前年度	▲ 20 百万円
未収学生納付金収入	4 百万円	対前年度	▲ 4 百万円
未収附属病院収入	3,549 百万円	対前年度	102 百万円
その他未収入金	43 百万円	対前年度	▲ 118 百万円

期末の未収入金は未収学生納付金収入、未附属病院収入、それ以外の未収入金(受託研究等、受託事業等の未収入金など)からなります。平成21年度末においては、未収学生納付金収入については、約4百万円減少、未附属病院収入は約1億円ほど増加しています。

負 債

資産見返負債	2,953 百万円	対前年度	▲ 16 百万円
--------	-----------	------	----------

道から交付される運営費交付金等で購入した固定資産(償却資産)の残存価格を負債として計上したもので、公立大学法人の会計の特徴的な勘定科目です。対象資産の減価償却額と同額を収益へ振り替えることで、収入を見込むことのできない教育研究用の機器備品等の減価償却費計上による費用超過が生じない仕組みとなっています。返済義務を伴う法律上の負債とは性格が異なります。

借入金(固定負債)	1,170 百万円	対前年度	260 百万円
借入金(流動負債)	260 百万円	対前年度	130 百万円

道からの借入金で附属病院の医療機器等の固定資産を購入するための財源となっており、毎年度5億2千万円の借り入れを行っています。(1年据え置きの4年間での償還)なお、一年以内に返済が予定されている金額は流動負債に計上します。

運営費交付金債務	229 百万円	対前年度	41 百万円
----------	---------	------	--------

道から交付を受けた運営費交付金は、一旦負債として計上した後、教育・研究等の実施状況に応じて収益に計上します。原則として期間の進行に伴い収益化しますが、特定の費用の発生と同時に収益化すべきものについては、運営費交付金債務として翌年度への繰越が認められております。運営費交付金債務のうち、161百万円が平成21年度に繰り越した債務です。

寄附金債務	546 百万円	対前年度	82 百万円
-------	---------	------	--------

企業や地域の皆様から本学へお寄せいただいた寄附金の残額等を表します。受入時は貸借対照表の負債に計上し、寄附の目的に沿って使用した後に費用進行基準により損益計算書の収益の部に計上します。

未払金	4,304 百万円	対前年度	799 百万円
-----	-----------	------	---------

ほとんどが3月及び年度末にの各種請求に対する未払金で、それらは翌年度の当初に支払いが行われず。

純 資 産

資本金	34,585 百万円	対前年度	0 百万円
-----	------------	------	-------

法人化にあたって道から出資を受けた資産の総額です。

資本剰余金	▲ 245 百万円	対前年度	179 百万円
-------	-----------	------	---------

非償却資産の取得、施設費や目的積立金を財源とした資産の取得等に伴う増加や特定償却資産の減価償却相当額見合いの減少など計上します。

利益剰余金	2,397 百万円	対前年度	262 百万円
-------	-----------	------	---------

業務に関連して発生した剰余金を示します。前年度から繰り越した目的積立金の残額が1,468百万円、積立金666百万円に当期の未処分利益262百万円が含まれます。

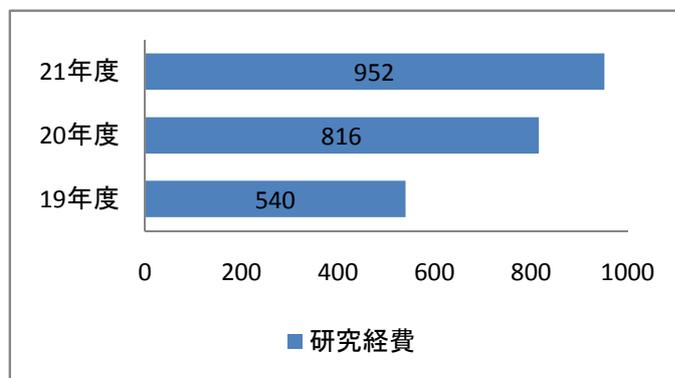
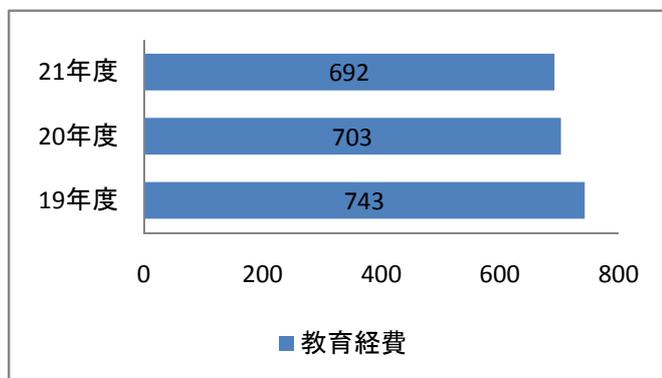
○損益計算書

経常費用

教育経費	研究経費
692 百万円 対前年度 ▲ 11百万円	952 百万円 対前年度 136百万円

・入学試験、学部教育など学生等の対し行われる教育に要する経費です。奨学金(授業料等の減免額に相当)、教育環境の維持費用等が含まれます。

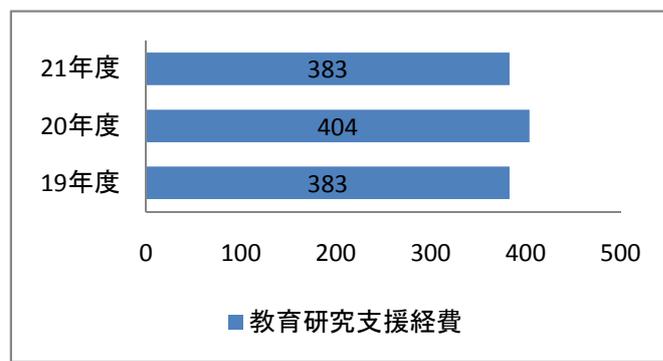
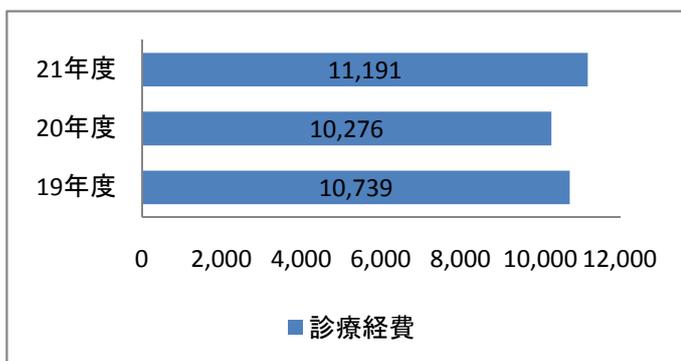
・各学部や研究所等における研究に要する経費です。
平成21年度は文部科学省の研究教育高度化支援整備補助金の獲得により前年度と比較して1億3千万円増加しています。



診療経費	教育研究支援経費
11,191 百万円 対前年度 915百万円	383 百万円 対前年度 ▲ 21百万円

・附属病院における附属病院収益の獲得に要する経費です。診療活動の活発化による収益増に見合う形で増加する傾向があり、平成21年度は患者数の増加に伴い医薬材料費等が増加しています。

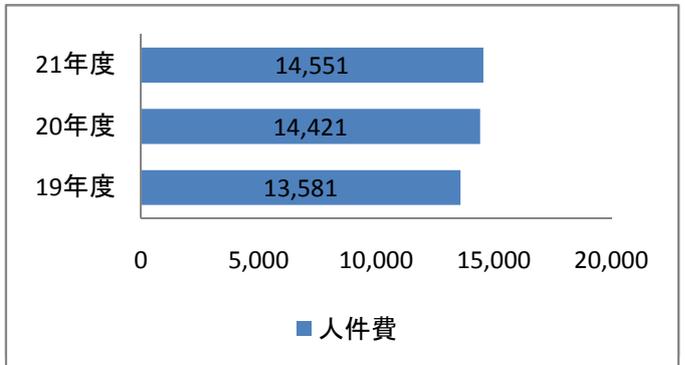
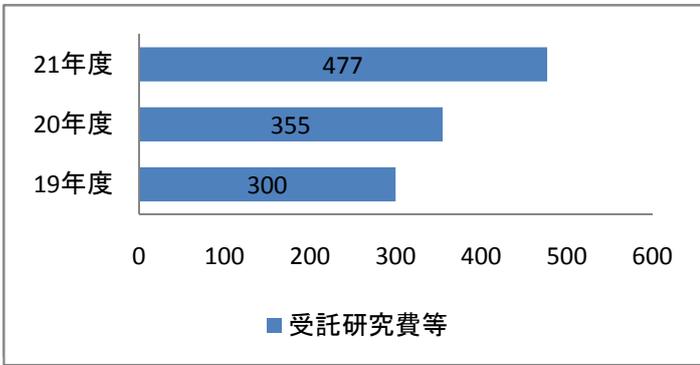
・附属総合情報センター等の大学全体の教育研究の双方を支援するために設置された組織の運営に要する経費です。なお、書籍など図書の取得は資産の部の図書に含まれます。



受託研究費等	人件費
477 百万円 対前年度 122百万円	14,551 百万円 対前年度 130百万円

・受託研究、共同研究及び受託事業の実施に要する経費です。研究者個人に交付される科学研究費補助金はここには含まれません。
 ・積極的に産学官の連携協力に取り組んだ結果、年々増加する傾向にあり、平成21年度も受託研究費が前年度より増加しています。

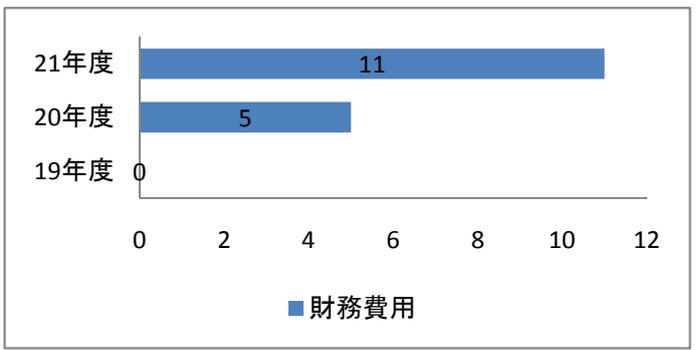
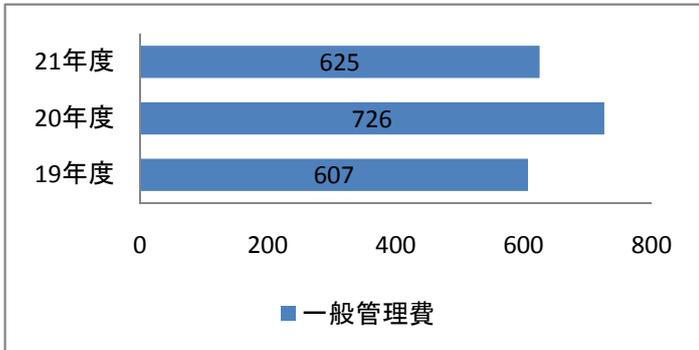
・役員への報酬・賞与・退職金及び教職員への給与・賞与・退職金が含まれています。
 ・平成21年度は文部科学省補助金等の獲得や外部資金で雇用した人件費の増と退職者の増による退職手当が増加しています。



一般管理費	財務費用
625 百万円 対前年度 ▲101百万円	11 百万円 対前年度 6百万円

・大学全体の管理運営を行うための経費及び他の区分に属さない業務経費が含まれています。
 ・平成21年度は光熱水費の節減等により前年度より減少しています。

・借入金利息の支払いなど財務的な活動に伴う費用です。本学の財務費用は道からの借入金に伴う利息の支払いによるものとなっています。



経常収益

運営費交付金収益

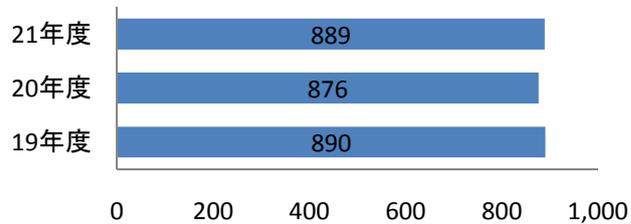
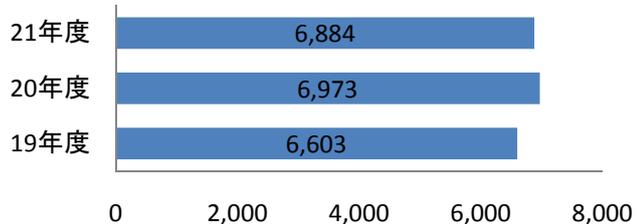
6,884 百万円 対前年度 ▲ 89百万円

授業料・入学金収益

889 百万円 対前年度 13百万円

・北海道から措置される大学運営を行うために使用できる交付金による収益です。効率化係数などの影響により毎年減少傾向にあります。H20は、職員給与縮減幅の圧縮により、交付金が増加しています。

・授業料や入学金、検定料などの学生納付金による収益です。ここ3年間の収入額に大きな変動はありません。



附属病院収益

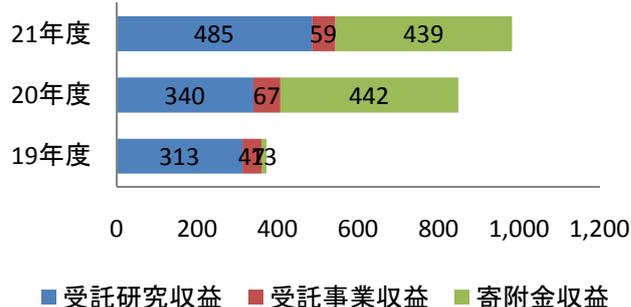
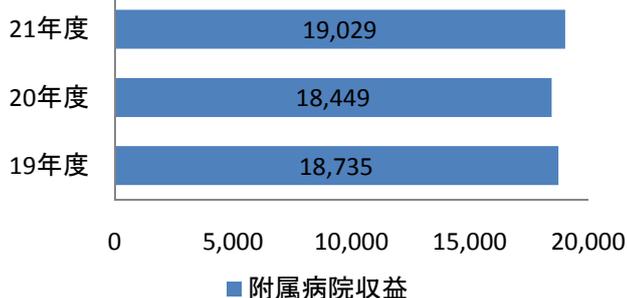
19,029 百万円 対前年度 580百万円

受託研究・寄附金収益

983 百万円 対前年度 134百万円

・病院における診療による収益です。
・平成21年度は患者数の増加に伴い、診療収入が増加しています。前年度と比較して、入院患者数は2,188人の増、外来患者数は、5,274人の増となっています。

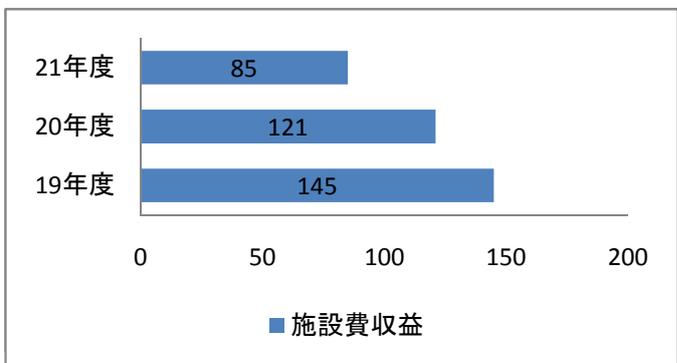
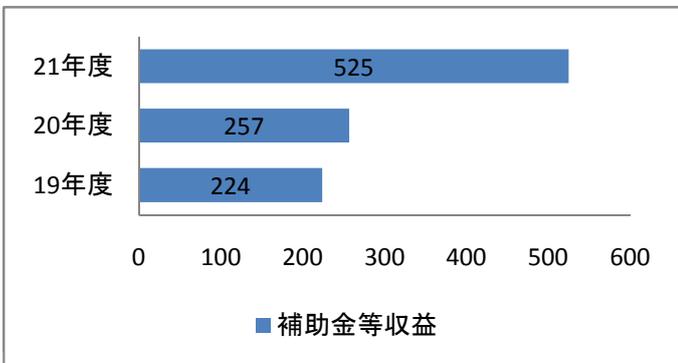
・受託研究、受託事業、寄附金などの外部資金の受入に伴う業務実施収益です。
・外部資金の受入増加に伴い、年々増加しており、平成21年度は受託研究収益が増加しています。
※平成19年9月まで寄附金は(財)札幌医科大学学術振興会の取り扱いで財務諸表には反映されていません。



補助金等収益	施設費収益
525 百万円 対前年度 268百万円	85 百万円 対前年度 ▲ 36百万円

・国等から交付された大学改革推進等補助金(GP)等の受入に伴う業務実施収益です。平成21年度は、文部科学省の教育研究高度化支援整備補助金の獲得により増加しています。

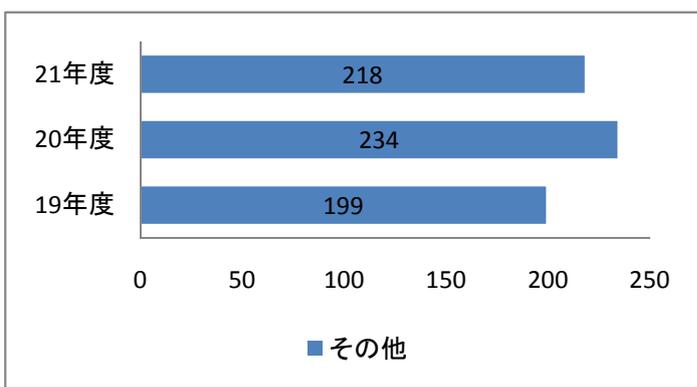
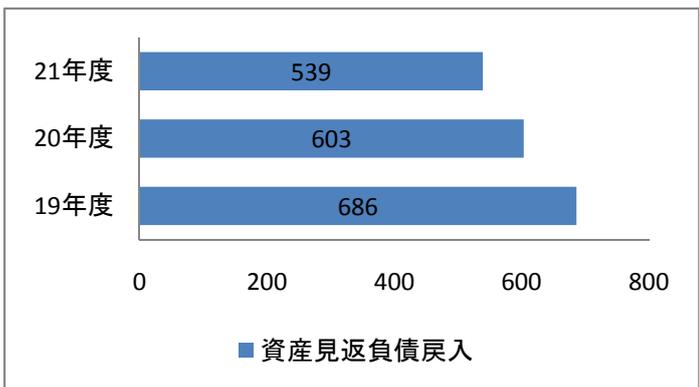
・施設費により措置されたもののうち、資本を構成しない修繕費、附帯事務費等の費用化された額に対応する収益です。



資産見返負債戻入	その他
539 百万円 対前年度 ▲ 64百万円	218 百万円 対前年度 ▲ 16百万円

・固定資産取得の際、負債に計上した取得財源毎の資産見返負債を減価償却に対応して取り崩す、公立大学法人会計の特徴的な科目です。

・財務収益や財産貸付料収入などの雑益が含まれます。



本学の収入構造について

1 道からの収入

道からの財源措置として、①運営費交付金、②施設整備費補助金、③長期借入金の3つの収入があります。

運営費交付金は、道が算定するルールに基づき、授業料や附属病院収入等に関係した収入予算と、同じく道が算定する教育・研究・医療等に関係した支出予算の差額が交付されます。

本学の交付された平成21年度の運営費交付金は、約71億円です。

なお、運営費交付金の算定ルールには、運営費交付金を毎年度1%ずつ削減する効率化係数、附属病院収入を毎年度約2億円ずつ増収することを義務づけた経営改善係数が導入されています。

これにより、効率的な業務運営や合理的な資金配分が求められております。

施設整備費補助金は、大学法人の施設整備等に係る経費であり、長期借入金は、附属病院の医療機器整備に係る経費の財源措置です。

・既定経費～教育研究診療経費や人件費等の不足分

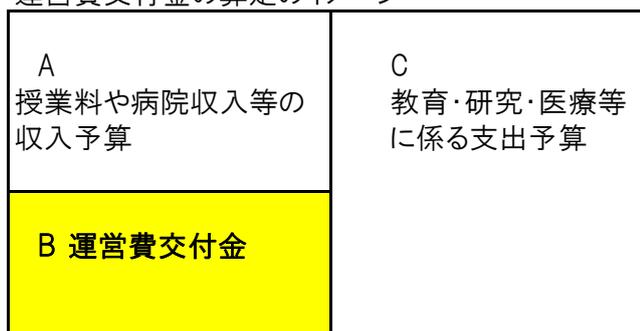
・特別加算～教育研究用機器整備加算と医師確保のための後期臨床研修医経費

・特殊要因～退職手当等経費

(単位:百万円)

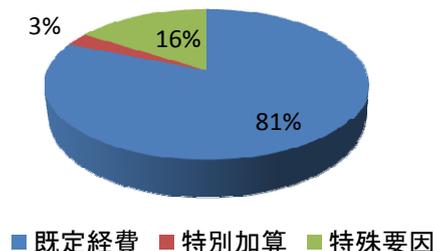
	H19	H20	H21
運営費交付金	7,119	7,410	7,113
施設整備補助金	950	541	567
長期借入金	520	520	520
計	8,589	8,471	8,200

運営費交付金の算定のイメージ



$$A+B=C$$

平成21年度運営費交付金



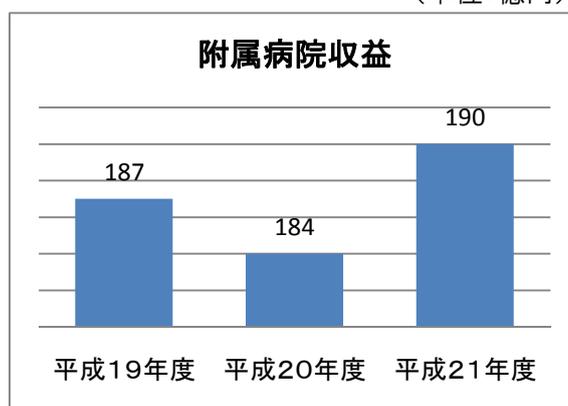
2 自己収入

附属病院関連収入と入学料、授業料などの学生関連収入が主な収入源となっています。また、特許権収入や外部資金の間接経費などの研究関連収入など教育研究活動を行う上で貴重な財源となっています。

(1) 附属病院収入

(単位:億円)

患者数推移(人)		平成19年度	平成20年度	平成21年度
入院患者数	281,163	270,018	272,206	
外来患者数	469,830	478,149	483,396	



(2) 学生関連収入

学生納付金(平成21年度)

(単位:百万円)

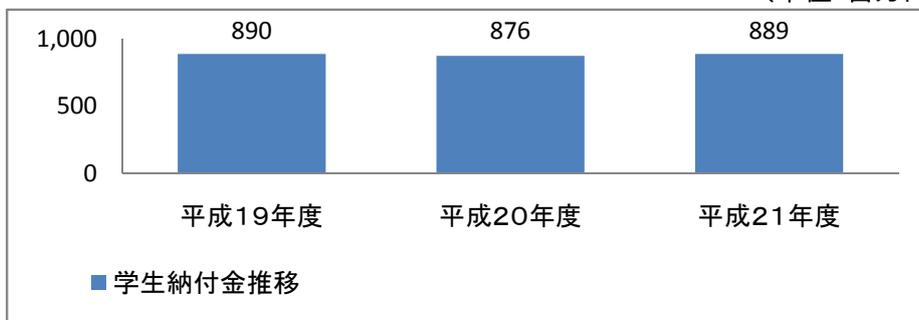
区分	授業料	入学料	検定料
学部学生	540	57	12
大学院学生	125	23	3
研究生	113	14	2

(単位:人)

在学生数
1,010
273
247

※在学生数は、平成22年5月1日現在の数値を表示しております。

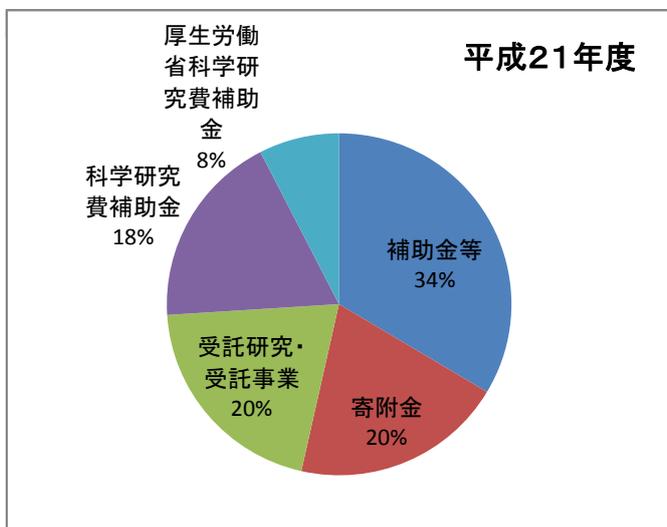
(単位:百万円)



3 外部資金等

外部資金等の受け入れには、次に示すように国からの競争的資金に相当する補助金、企業や地域の皆様のご厚意による寄附金、企業や自治体等と協力して研究や事業を行う受託研究・事業等の様々な形態があります。

なお、研究者個人に交付される科学研究費補助金、厚生労働科学研究費補助金などの直接経費は預り金として処理され、損益計算書上の費用、損益には含まれません。また、これらに係る間接経費については、研究関連収入として損益計算書上の収益に含まれます。



【外部資金の内訳】

(単位:百万円)

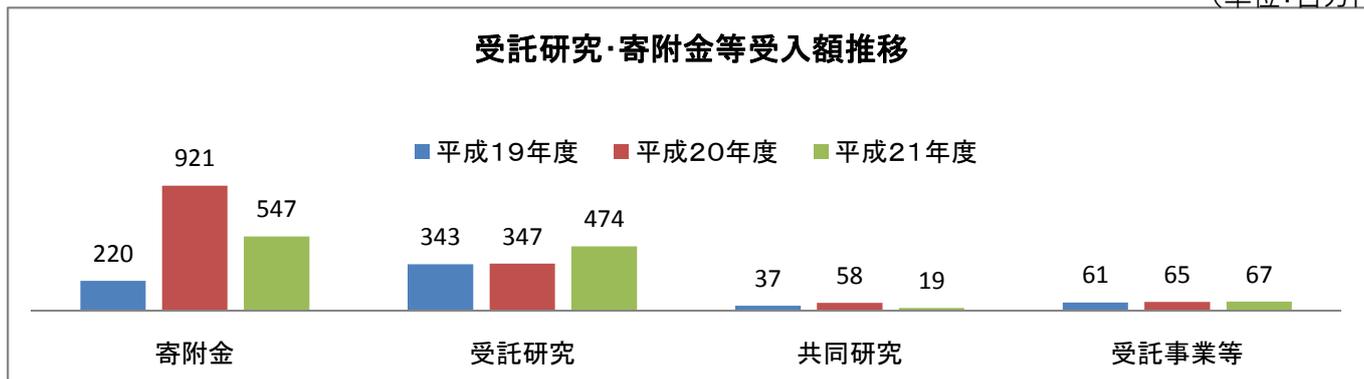
補助金等	918
寄附金	547
受託研究・受託事業	561 ※1)
科学研究費補助金	505 ※2)
厚生労働省科学研究費等	207 ※3)

※1) 受託研究・受託事業～大学と国や産業界が研究や事業について受託研究・共同研究・受託事業等様々な形態で連携協力を行うものです。

※2) 科学研究費補助金(文部科学省)～基礎から応用まであらゆる分野の学術研究の発展を目的として研究代表者等に交付される補助金です。

※3) 厚生労働科学研究費補助金～厚生労働科学研究の振興を目的として研究代表者等に交付される補助金です。

(単位:百万円)



財務報告書2010

平成22年9月発行

発行・編集 北海道公立大学法人札幌医科大学事務局
経営企画課財務室